

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 にじいろキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 30日		～ 令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 12月 16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○法人内には各専門的分野の職員が在籍しており、課題や問題が発生した場合には事業所だけではなく相談出来る環境となっている。	○会議や委員会、研修へ参加する事で情報共有やスキルアップ出来るようにしている。	○各セクションとのより良い連携を図り、利用児童の移行支援がスムーズに出来るよう取り組んでいきたい。
2	○入浴支援を取り入れている。	○身体に異変が見られないか、毎回確認を行っている。 ○リラックスして入浴することが出来るようコミュニケーションを図り、緊張の緩和を行っている。 ○機械浴槽の点検や浴室内の清掃を行っている。	○安全に安心して入浴が出来るよう不具合や支援方法の変更等スタッフ間でしっかりと共有していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○集団活動を行う時間が短い。	○入浴やリハビリ等個別対応での支援を中心としており、スタッフが分散していること。 ○高学年になると下校時間が遅くなることで、サービス提供時間も短い。	○安全面を考慮しながらもスムーズな移動や動線の確保、声掛け等を行う事で、集団活動の時間を作っていく。 ○長期期間中の利用時にじっくりと取り組む。
2	○利用数、スタッフ数に対して居室のスペースが狭い。	○車いす等の置き場所が少なく、スムーズな移動が出来ない。 ○高床マットでは自由に動き回る場所、安静にできる場所が限られている。	○車いす等使用しない場合には居室外へ移動させ、出来る限り空間を広く取れるよう取り組む。 ○高床マットを使用する場合には、他者との距離を確認しながら安全に利用できるようスタッフは必ず見守りを行う。
3			